

PRIMERGY ファイバーチャネルポートアップグレード(PG-FCSU107)取扱説明書

このたびは、弊社の PRIMERGY ファイバーチャネルポートアップグレード(以降、本製品と略します)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の取り扱いについて記載しておりますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

2015 年 1 月
富士通株式会社

1. 梱包物の確認

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。
万一足りないものがございましたら、製品を購入された販売会社、または弊社の担当営業にご連絡ください。

- ・ ライセンスシート (Software License Package) 1 部
- ・ 取扱説明書 (本書) 1 部

2. 概要

本製品は、PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード (8Gbps 18/8) (以降、スイッチと略します。)のポート数を拡張することができるライセンスオプション (Brocade Ports on Demand) です。本製品を適用することで、スイッチで利用可能なポート数を 14 ポートから 26 ポートに拡張することができます。

3. PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード(8Gbps 18/8)について

PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード (8Gbps 18/8) (PG-FCS104, PGBFCS1041, PGBFCS1042)は、ご購入時の状態では 14 ポートが使用可能になっています。必要に応じて本製品 (Brocade Ports on Demand (POD) ライセンス) を購入してインストールすることで、ハードウェアを変更することなく 12 ポートを追加することができます。

Ports on Demand は、スイッチのファームウェア内いつでもロックが解除できる状態になっており、ライセンスキーをインストールすることでロックが解除され、機能が使用できるようになります。

ご購入時はスイッチの Ports on Demand の状態がダイナミックモードに設定されており、外部ポート/内部ポート合計で 14 ポートが利用可能です。その場合、本ライセンスを適用することで合計 26 ポート(外部 8 ポート、内部 18 ポート)が利用可能になります。

スイッチの設定をご購入時から変更し、Ports on Demand の状態がスタティックモードに設定されている場合は、ライセンス適用前に使用可能なポートと適用後に使用可能なポートの範囲は下表の通りとなります。

ポートライセンス	外部ポート	内部ポート
基本 (POD スタティックモード)	19~22	1~10
Ports on Demand(POD)適用時	19~25,0	1~18

外部ポートおよび内部ポート欄の番号は、ポート番号を示します。

4. PRIMERGY ファイバーチャネルポートアップグレードについて

本製品は、トランザクションキーが記載されたライセンスシートという形で提供されます。ライセンスシートに記載されたトランザクションキーを直接スイッチにインストールすることは出来ません。

トランザクションキーを専用のホームページに入力することで、スイッチ固有のライセンスキーを取得することができます。従って、ライセンスキーを取得するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。

ライセンスキーの取得は、お客様に行っていただく必要があります。

ポイント

- ▶ 本製品は、必ずインストールするスイッチの台数分ご購入ください。

重要

- ▶ 本製品は、以下の製品に対するライセンスオプションです。他の製品には使用できません。
製品名 PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード(8Gbps 18/8)
型名 PG-FCS104, PGBFCS1041, PGBFCS1042

5. ライセンスキーの取得

5.1 事前確認

ライセンスキーを取得する前に、現時点でのインストール済ライセンスの確認を行います。

(1) ライセンスオプションの確認

- 1 telnet または マネジメントブレード経由で Fabric OS に admin でログインします。
Fabric OS へのログイン方法については、『PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード(8Gbps 18/8)取扱説明書』を参照してください。
- 2 「licenseShow」コマンドを実行して、インストール済のライセンスを確認します。
ライセンスオプションが何もインストールされていない場合でも、1 つ以上のライセンスが標準でインストールされています。

(2) S/N (シリアルナンバー)の確認

トランザクションキーをライセンスキーに変換するには、スイッチの S/N(シリアルナンバー)が必要になります。S/N は装置にラベル貼付しています。ラベル位置は、図 1 を参照してください。

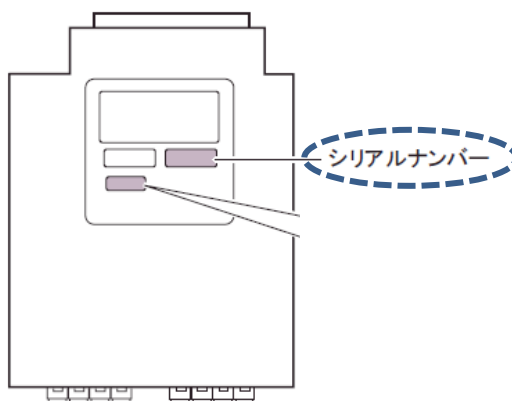


図 1 S/N(シリアルナンバー)ラベル位置

ブレードサーバシャーシにスイッチを搭載した状態で S/N(シリアルナンバー)を確認する場合は、次の方法にて確認することが出来ます。

- 1 telnet または マネジメントブレード経由で Fabric OS に admin でログインします。
- 2 「chassisshow」コマンドを実行して、装置の WWN を確認します。

```
***:admin> chassisshow
CHASSIS/WWN Unit: 1
Header Version: 2
Power Usage (Watts): -288
Factory Part Num: 40-1000864-13
Factory Serial Num: CWA2534L001
Manufacture: Day: 18 Month: 4 Year: 2015
Update: Day: 23 Month: 12 Year: 2015
Time Alive: 108 days
Time Awake: 40 days
ID: BRD0000CA
Part Num: SLKWRM0000784
Serial Num: CWA2534L001
***:admin>
```

S/N(シリアルナンバー)

5.2 ライセンスキーの取得方法

Brocade 社のライセンスオプションのライセンスシートに記載されている『トランザクションキー』から装置固有のライセンスキーを取得します。

ライセンスキーの取得方法は次の通りです。

- 1 次の URL にアクセスします。
<http://swportal.brocade.com/wps/portal/>
- 2 ソフトウェアポータルログインページが表示されます。
次の「User ID」と「Password」を入力し、「Software Licensing」の状態で[LOGIN]をクリックしてください。

User ID : ia-brocade-lg@ml.css.fujitsu.com

Password : fuji2admin

The screenshot shows the Brocade Software Portal login interface. On the left, there are three labels: 'User ID', 'Password', and 'LOGIN'. Blue arrows point from 'User ID' to the first input field, from 'Password' to the second input field, and from 'LOGIN' to the 'LOGIN' button. The 'LOGIN' button is highlighted with a red box. Below the button, there are links for '> Help' and '> Forgot your ID or password?'. A message for SteelApp Customers is displayed below the button. On the right side, there is a 'REGISTER WITH BROCADE' section with a 'Register Now' button and a 'MORE PURCHASE OPTIONS' section with links for '> How to buy' and '> Partner location'.

図 2. Brocade ソフトウェアポータル ログインページ

- 3 LICENSE GENERATION 画面に移行しますので、「activation key(トランザクションキー)」を入力し「NEXT」を選択してください。

The screenshot shows the Brocade Software Portal License Generation page. At the top, there is a progress bar with three steps: 'Identify', 'Information', and 'Results'. The 'Identify' step is active. Below the progress bar, there is a 'LICENSE GENERATION' section with a message: 'Please proceed for license generation with activation key. Read Input Guidelines'. A text input field contains the activation key 'B3E83534520EE01EA18C3F'. Below the input field, there are two buttons: 'CANCEL' and 'NEXT'. The 'NEXT' button is highlighted with a red circle.

図 3.ライセンスポータルサイトメニュー画面

- 4 「PRODUCTION INFORMATION」欄にシリアルナンバーを入力します。
 ※表示されている情報に誤りがある場合は、「Remove」をクリックし最初の画面に戻り正しい情報を入力します。

図 4. ライセンス生成情報入力画面

重要

- ▶ シリアルナンバーは正確に入力してください。誤った値を入力しますと、別のスイッチと認識されてしまい、正しいライセンスキーが提供されません。ライセンスキーが正しくないとスイッチにインストールすることができなくなります。

表. Transaction key に使用されている文字

文字	数字										アルファベット					
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シート記載文字種①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シート記載文字種②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

ライセンスシートに記載されている Transaction Key に使用されている文字は、数字 10 種、アルファベット (大文字) 6 種の計 16 種類であり、これ以外の文字は使用されていません。文字は主に上記 2 種類の文字種 (フォント) で記載されています。

- 5 入力した情報が正しいことを確認した後、画面下部の「I have read and accept the Brocade End User License Agreement」にチェックを入れ、「GENERATE」ボタンをクリックしてください。

ポイント

- ▶ ライセンス情報をメールで受け取りたい場合は、「CUSTOMER INFORMATION」記載アカウント(ログインアカウント)の後に「;」(セミコロン)で区切りメールアドレスを入力してください。

The screenshot shows the Brocade web interface during the license generation process. The 'GENERATE' button is circled in red. Below it, the checkbox for 'I have read and accept the Brocade End User License Agreement' is also circled in red. The email address 'ia-brocade-lg@ml.css.fujitsu.com' is highlighted in a red box, and a callout bubble points to it with the text ';メールアドレス'.

図 5. GENERATE 実行

- 6 Status 欄に Success が表示されていることを確認します。内容に誤りがない事を確認し、License の文字をクリックします。

The screenshot shows the Brocade web interface displaying the results of the license generation process. The 'License' text in the 'License' column of the table is circled in red.

STATUS	LICENSE	SKU	ID VALUE	ACTIVATION KEY
Success	License	BR-MIDRIR-01	SERIAL CWA2534LOOP	83E83534520EE01EA18C3F

図 6. License Generation 部分

- 7 ライセンスキーが記載されたテキストファイルがダウンロードされます。
- 8 ライセンスキーの発行が完了したら、画面右上の[SIGN OUT]をクリックしてサインアウトします。

6. ライセンスキーのインストール

Web Tools または CLI を使用してライセンスを追加することができます。
Web Tools および CLI の詳細に関しては、以下のドキュメントを参照してください。

- PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード (8Gbps 18/8) Web Tools リファレンスガイド
- PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード (8Gbps 18/8) Fabric OS リファレンスガイド

(1) ライセンスキーのインストール

CLI を使用してライセンスキーをインストールする手順の例に説明します。

■ スイッチが既存ストレージネットワークに接続されている場合

- 1 telnet または マネジメントブレード経由で Fabric OS に admin でログインします。
- 2 「licenseAdd」コマンドを実行して、ライセンスをインストールします。

```
***:admin> licenseadd "key" [Enter]
```

“key”の部分には、手順 5.2 で取得したライセンスキーを入力してください。

ポイント

- ▶ ライセンスキーは大文字小文字を区別しています。提供されたものと同じものを入力してください。
- ▶ ライセンスキーは必ず二重引用符“”で囲んでください。
- ▶ ライセンスキーは 5.2 章で入手したものを使用してください。ライセンスシートに記載されているトランザクションキーではありません。

- 3 「licenseShow」コマンドを実行して、追加したライセンスを確認します。
その時点でスイッチにインストールされているライセンス付き機能がリストされますので、
“Full Ports on Demand license - additional 12 port upgrade”
がリストされていることを確認してください。
機能がリストされない場合は、「licenseAdd」コマンドを再度実行してください。
- 4 Ports On Demand がスタティックモードに設定されている場合は、ライセンス付与「portEnable」
コマンドを実行して、ポートをオンにします。ダイナミックモードの場合は、ポートは自動的にオン
になりますので本操作は必要ありません。

```
***:admin> portenable 11 [Enter]
***:admin> portenable 12 [Enter]
***:admin> portenable 13 [Enter]
***:admin> portenable 14 [Enter]
***:admin> portenable 15 [Enter]
***:admin> portenable 16 [Enter]
***:admin> portenable 17 [Enter]
***:admin> portenable 18 [Enter]
***:admin> portenable 23 [Enter]
***:admin> portenable 24 [Enter]
***:admin> portenable 25 [Enter]
***:admin> portenable 0 [Enter]
```

ポイント

- ▶ 内部ポート(ポート 11~18)で本操作によりポートをオンにする場合、ファイバーチャネル拡張ボードを搭載したサーバブレードが対応するポートに接続されていないとポートをオンにすることができません。ファイバーチャネル拡張ボードを搭載したサーバブレードを搭載して本操作を実施していただくか、もしくは、一度スイッチをストレージネットワークから切り離し、次の「新たにスイッチを既存ストレージネットワークに接続する場合」の手順でポートをオンにしてください。

- 5 「portShow」コマンドを実行して、新たに追加したポートを確認します。

■ 新たにスイッチを既存ストレージネットワークに接続する場合

重要

- ▶ スイッチが既存ストレージネットワークで動作中の場合は、下記方法でライセンス追加を行わないでください。トラフィックが混乱することがあります。スイッチが既存ストレージネットワークで動作していないことを確認してからライセンス追加を行ってください。

- 1 telnet または マネジメントブレード経由で Fabric OS に admin でログインします。
- 2 「switchDisable」コマンドを実行して、スイッチを無効にします。
- 3 「licenseAdd」コマンドを実行して、ライセンスをインストールします。

```
***:admin> licenseadd "key" [Enter]
```

“key”の部分には、手順 5.2 で取得したライセンスキーを入力してください。

ポイント

- ▶ ライセンスキーは大文字小文字を区別しています。提供されたものと同じものを入力してください。
- ▶ ライセンスキーは必ず二重引用符“”で囲んでください。
- ▶ ライセンスキーは 5.2 章で入手したものを使用してください。ライセンスシートに記載されているトランザクションキーではありません。

- 4 「licenseShow」コマンドを実行して、追加したライセンスを確認します。
その時点でスイッチにインストールされているライセンス付き機能がリストされますので、“Full Ports on Demand license - additional 12 port upgrade”がリストされていることを確認してください。
機能がリストされない場合は、「licenseAdd」コマンドを再度実行してください。
- 5 「switchEnable」コマンドを実行して、スイッチを有効にします。
- 6 「portShow」コマンドを実行して、新たに追加したポートを確認します。

— 以上 —